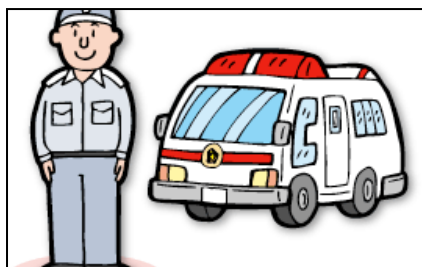


動物の症状から見た緊急度鑑別表



クラスA

すぐに動物病院を受診してください。

- :食欲 ここ2～3日まったく食べない。水も飲まない。
- :体温 体温計で計ると体温が40度以上ある。
- :呼吸 呼吸が止まっている。呼吸の時に変な音がする。舌の色が紫色あるいは白い。あえぐ。
- :嘔吐 激しく何度も嘔吐する。吐物に赤やチョコレート色の血が混じる。
- :下痢 激しく何度も下痢をする。下痢に大量の赤やチョコレート色の血が混じる。
- :疼痛 激しく連続的な痛みがある。触ろうとするとひどく怒る。痛みがおさまらない。
- :排尿 何度もトイレの姿勢をするがオシッコが出ていない。オシッコに血が混じる。
- :出血 大量に出血している。4～5分押さえても出血が止まらない。舌の色が白っぽい。
- :痙攣 5～10分しても痙攣が止まらない。急に意識がなくなる。よろつく
- :中毒 なにか植物や薬品を食べた。猫に市販の風邪薬を飲ませた。(食べたものを持参して)
- :跛行 痛みがあり、連続的に跛行が続く。まったく歩けない。患肢を地面に着けない。



クラスB

なるべく早く今日中に、動物病院を受診してください。

- :食欲 ここ1～2日まったく食べない。水は飲んでいる。
- :体温 体温計で計ると体温が39度台である。
- :呼吸 呼吸がややおかしいが食べたり飲んだり是可以する。舌の色はいつもと同じピンク色。
- :嘔吐 時々嘔吐する。吐物に血が混じっていても少量。元気は比較的ある。
- :下痢 時々下痢をする。下痢に血が混じっていても少量。元気は比較的ある。
- :疼痛 痛みがある。触られるのを嫌う。
- :排尿 何度もトイレの姿勢をし、オシッコが少量しか出ていない。
- :出血 出血していたが今は止まっている。舌の色はいつもと同じピンク色。
- :痙攣 痙攣を起こしたり、失神したりしたが今は落ち着いている。
- :跛行 連続的に跛行が続くがひどい痛みはない。患肢を時々地面につけてあるく。



クラスC

あわてず1日様子を見て、動物病院を受診してください。

- :食欲 1日食べない。水は飲んでいる。他に異常はない。
- :嘔吐 1日1回～2回嘔吐する。吐物に血は混じっていない。他に異常はない。
- :下痢 1日1回～2回下痢をする。下痢に血は混じっていない。他に異常はない。
- :疼痛 多少の痛みがあるようだが触らせてくれる。他に異常はない。
- :跛行 跛行があるが痛みはない。ほとんど患肢を地面につけて歩く。



壱岐動物病院では、各種血液検査、生化学検査、デジタルレントゲン検査、超音波検査、心電図検査などが可能です。

また、ペット美容室、ペットホテルなども併設し、トータルで皆様のペッライフをサポートしております。



この鑑別は一般的な状況からの判断です。複数の項目に該当する場合や状態があまりにも思わしくない場合、症状が見られてから何日も経過している場合はこの限りではありませんので、なるべく早く動物病院を受診してください。

診察時間 午前9:00～12:00 午後16:00～19:00 (受付18:30まで)

休診日 日曜祝祭日、土曜日午後

お問い合わせ：壱岐動物病院 0920-47-6767

壱岐動物病院 〒811-5117 長崎県壱岐市郷ノ浦町田中触989-1

<https://1013.jp>